

Web 3.0に向けて

駒澤大学
グローバル・メディア・スタディーズ学部
齋藤信男

2009/03/16

セマンティックWebコンファランス 2009

1

Webの流れ

- 1) data 共有 — Web 1.0
- 2) コミュニケーションツール — Web 2.0

- Web アプリケーション
 - インターネット上のアプリケーションはほとんどWeb上で実行される

2009/03/16

セマンティックWebコンファランス 2009

2

Data共有から見たWeb

- ハイパーテキスト(インターネット上)
 - 2次元ドキュメント
- Linked Data
 - メタデータを使ったデータ間の関係を利用
- 知識管理へ発展していこう

コミュニケーションツールから見たWeb

- Blog, trackback
 - Read-only Web から擬似Writable Webへ
- Web検索だけでは詰まらない
- 自由なコミュニケーションの場=>新しいコミュニティ作りへ寄与
- 豊富なアプリケーションの発展へつながる

Web アプリケーション

- Webは単なるユーザインタフェースではない
- Webは単なるハイパーテキストだけではない
- Web OS
- Web Application Platform
- SOA, SaaS
- Mashup

Web 2.0 の反省

- ユーザの安全性の欠如
 - Read-only から Writable への転進
- アドホック的拡張
 - Cookie
- ボトムアップか、トップダウンか？
 - 民主主義か国家主義か

Web3.0 の目標

- Webの二つの流れのインテグレーション
- Web 2.0の欠陥を取り除く
- IT の先端を取り入れる

- 我が国のITの再生

2009/03/16

セマンティックWebコンファランス 2009

7

「知的アプリケーションプラットフォーム」としてのWeb3.0

- Web OS
- 基盤システムとして利用
- 次世代(知識経済、知識社会)のアプリケーションプラットフォームの構築
- プラットフォームの重要性の認識
 - インターネットはインフラストラクチャ
 - NGNはインフラストラクチャ
 - Windows(OS)はプラットフォーム
 - Webは、プラットフォーム

2009/03/16

セマンティックWebコンファランス 2009

8

何故プラットフォームか

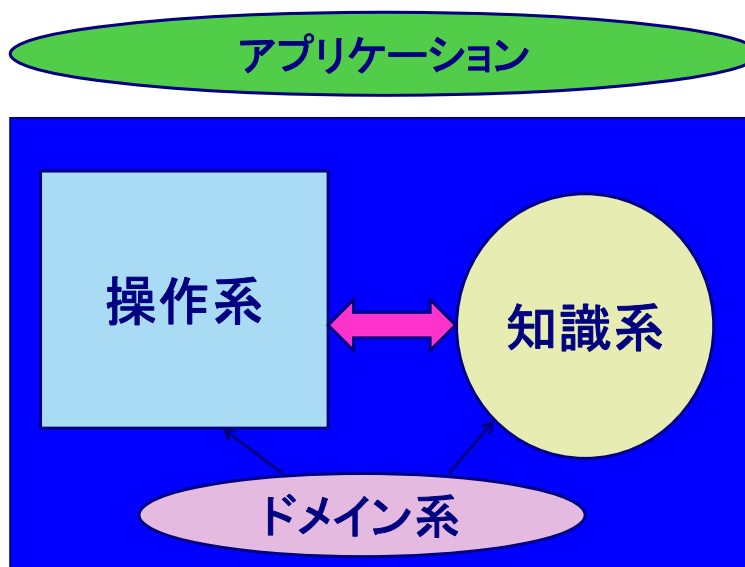
- MS, Googleはプラットフォームビジネスで大成功した
- プラットフォームは莫大な利益を得られる
- ただし、オープン化が必須
- その使い方に関するビジネスにチャンスあり

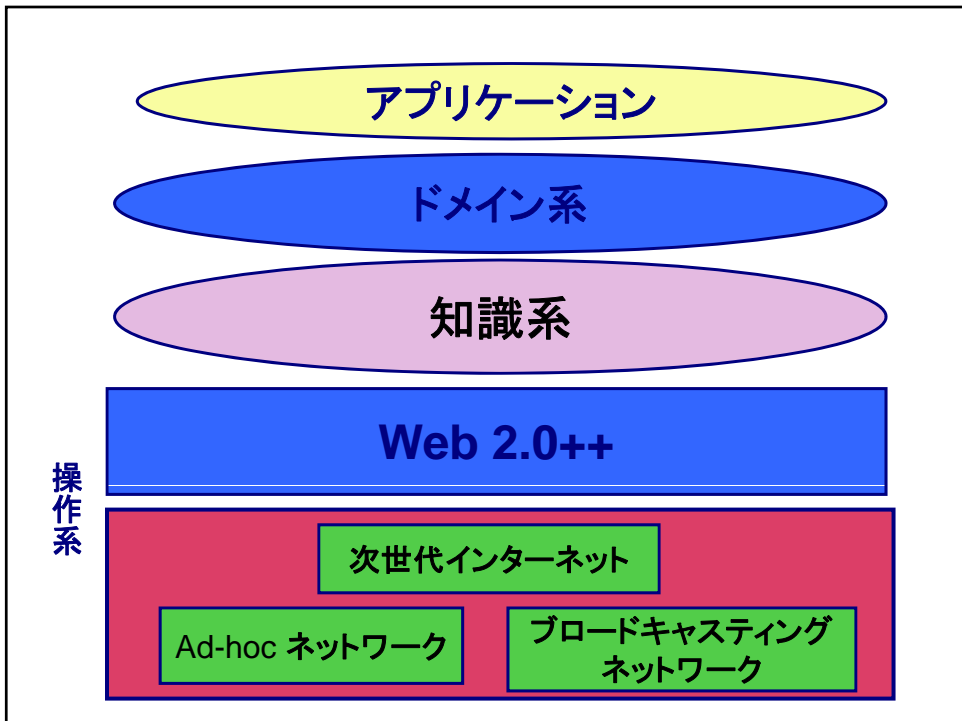
2009/03/16

セマンティックWebコンファランス 2009

9

知的アプリケーションプラットフォームのアーキテクチャ

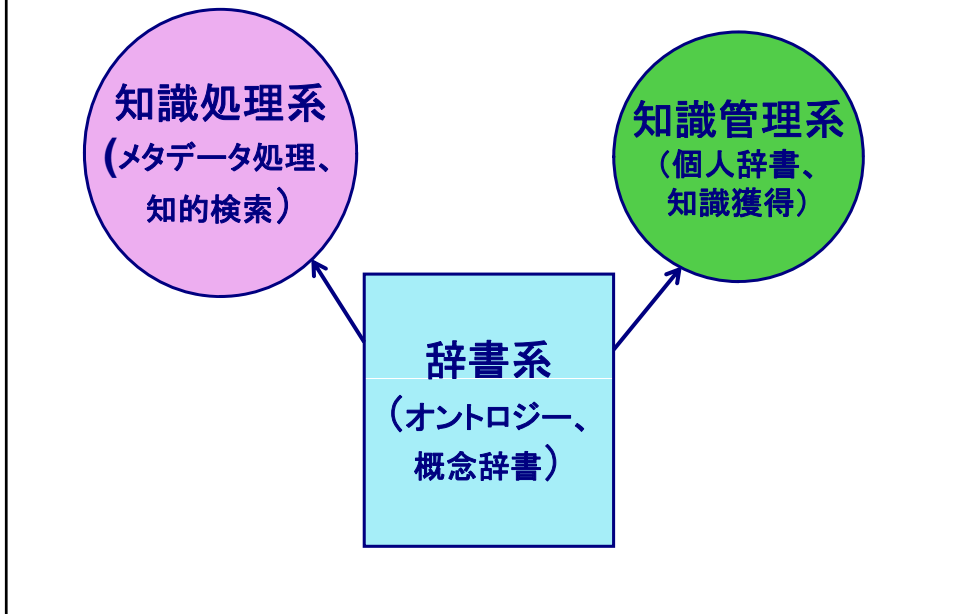




知識系

- メタデータの利用
- 検索機構
- 辞書(分野別オントロジ)
- 自然言語辞書(概念辞書)
- 個人、組織の知識の自己成長=>知識管理
- 個別辞書の共有

知識系の構造



ドメイン系

- プロファイルデータ管理
- オントロジー開発(ドメインごと)
- 組織の構成
 - 組織の階層構造
 - プロファイルデータの利用
- アクセス管理の知的化
- セキュリティ、プライバシー、知的所有権の知的管理
- インターネットの公開性の維持

操作系

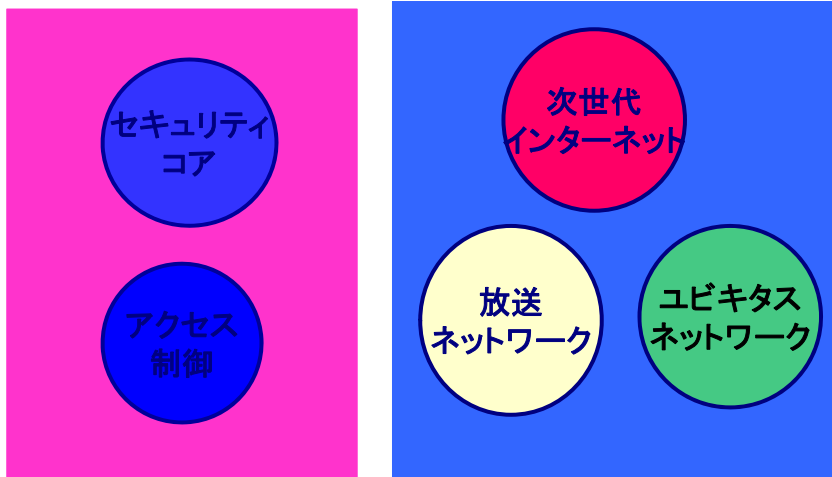
- 各種ネットワークのインテグレーション
 - 次世代インターネット
 - 放送系ネットとの融合
 - ユビキタスネットとの融合
- 安全性の強化
 - セキュリティコア
 - アクセス制御
 - 運営のグローバル化

2009/03/16

セマンティックWebコンファランス 2009

15

操作系



最新のIT

- Linked Data
- クラウドコンピューティング

Web3. 0は総合技術

- 慎重に設計したアーキテクチャによる知的アプリケーションプラットフォーム
- 我が国は、それが出来る最先端の立場にある
- 日本のITの再生
- ITによる日本の再生

日本社会の再生

知識社会イノベーション

環境・エネルギー

農業・食料

健康・医療

人材・教育

WEB3.0(知的アプリケーションプラットフォーム)